

平成26年度施策評価シート(平成25年度実施事業)

施策名	商業	施策コード 2-3-1	作成主管課	商工観光課
			関係課	

総合計画後期基本計画の内容 ※H24.2月策定

政策体系	政策	第2章 多彩な交流で飛躍する活力ある産業のまちづくり〔産業〕
	小政策	3 交通条件を生かした、豊かさを育む商工業を振興します
現況と課題	<p>本市の商業を取り巻く環境は、幹線道路沿道への郊外型大型店舗や周辺都市への購買の流出が進んでおり、身近な商店や商店街の衰退・空洞化がさらに進み、経営面においても厳しい状況が続いています。これまで、商工会などによる経営指導や定期的な商業イベントの開催支援、地場産品を利用した菓子等の開発・販売などさまざまな商店街活性化事業を進めてきました。また、空き店舗の活用、都市計画と連動した稲荷門前通りのまちづくり事業による市街地の活性化対策も推進してきました。</p> <p>今後は、高齢化社会の進展などを踏まえ、より地域に密着した新しいサービスの創出や分野横断による各種施策との一体的な商業振興が求められます。そのため、地域の特性を生かしたさまざまな商業・商店街の魅力づくりを進める活性化組織や人材の育成、経営の安定化を促進するとともに、他産業との連携強化やご当地グルメ「笠間いなり寿司」など、食を活用した活性化などを図っていく必要があります。</p> <p>また、大規模災害の発生時には、共助の精神による避難市民への物品援助などの支援体制を構築していく必要があります。</p>	
施策目標	既存の小売店と大型店舗のそれぞれの特徴と特性を生かした集客対策を行い、他産業との連携による様々なサービスを提供する商店街の形成と商業の振興を図ります。	

1 総合計画進行管理

市民からの意見・反応等	
-------------	--

(1) 目標指標1

市民実感度指標		H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
商店街に活気があると感じている市民の割合	市民実感度	14.170	21.030	23.490			
	加重平均値	1.712	1.913	1.986			
当施策を重要と感じている市民の割合	重要度		88.020	86			
	加重平均値		3.372	3			

(2) 目標指標2

数値指標		単位	H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
笠間市商工会商業部会員数	目標値	店舗		500	500	500	500	500
	実績値	店舗	535	509	489			
	達成度	%		101.80	97.80			
	ベンチマーク							
	目標値	人						
	実績値	人						
	達成度	%						
	ベンチマーク							
	目標値	店舗						
	実績値	店舗						
	達成度	%						
	ベンチマーク							
	目標値	人						
	実績値	人						
	達成度	%						
	ベンチマーク							

数値指標の考え方	指標設定の考え方	事業者の支援を実施している商工会の商業部会員数とする。
	目標値設定の考え方	事務事業評価当初を目標値とする。

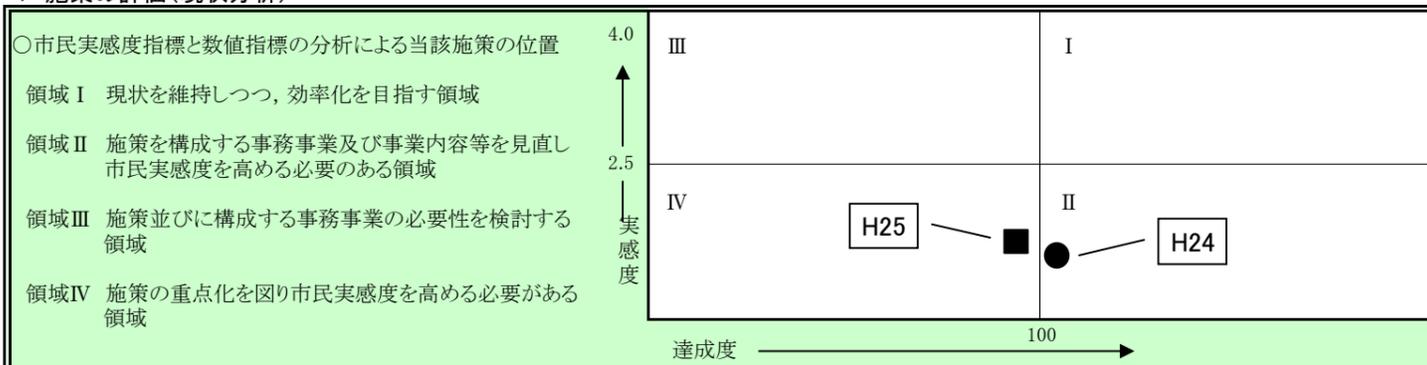
2 施策の成果向上に向けての市民と行政との役割分担

市民の役割	市民(地域・団体・事業所)が自助でやるべきこと。共助でやるべきこと。市と協働でやるべきこと。 地域に密着している既存商店街を日常に利用すること。
行政の役割	市がやるべきこと。県がやるべきこと。国がやるべきこと。 市の金融制度や国県の補助事業等により、商店街の活性化を図る。

3 平成25年度の取組状況

取組状況等	<p>取り組み内容と成果、成果が得られた要因として考えられること。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市の金融制度による中小の事業者へ支援し、中小企業者の健全な企業活動に寄与した。【保証料補給実績】自治金融:230件、17,635,881円 振興金融:2件、316,800円【利子補給実績】493件、10,317,874円 商工会並びに笠間地区・岩間地区の市街地活性化を目的とした補助により各種事業を展開した。 ご当地グルメ「笠間いなり寿司」が愛Bリーグ正会員として、B-1グランプリ全国大会(愛知県豊川市)並びに関東大会(千葉県勝浦市)に出展し、笠間市のPRを行った。
-------	--

4 施策の評価(現状分析)



指標を分析した結果施策目標は達成されたのか

達成度評価	事業主の高齢化や後継者不在等により、商工会員数は減少傾向ではある。しかし、各商店街が賑わいを呼び戻すための市街地活性化等の取り組みにより市民実感度が増加している。
-------	---

施策目標を達成するための手段(事務事業)の構成は妥当か

構成事務事業の適正性	市街地活性化推進事業をはじめ、笠間いなり寿司を活用したまちおこし活動を継続して実施することで、徐々にまちに賑わいが戻りつつあることから、構成は妥当であると考えられる。
------------	---

平成26年度以降に残る課題、その要因として考えられること。

残された課題	事業者の高齢化や後継者不足による事業者の減少と人口減少による消費者の減少。
--------	---------------------------------------

5 今後の方向性

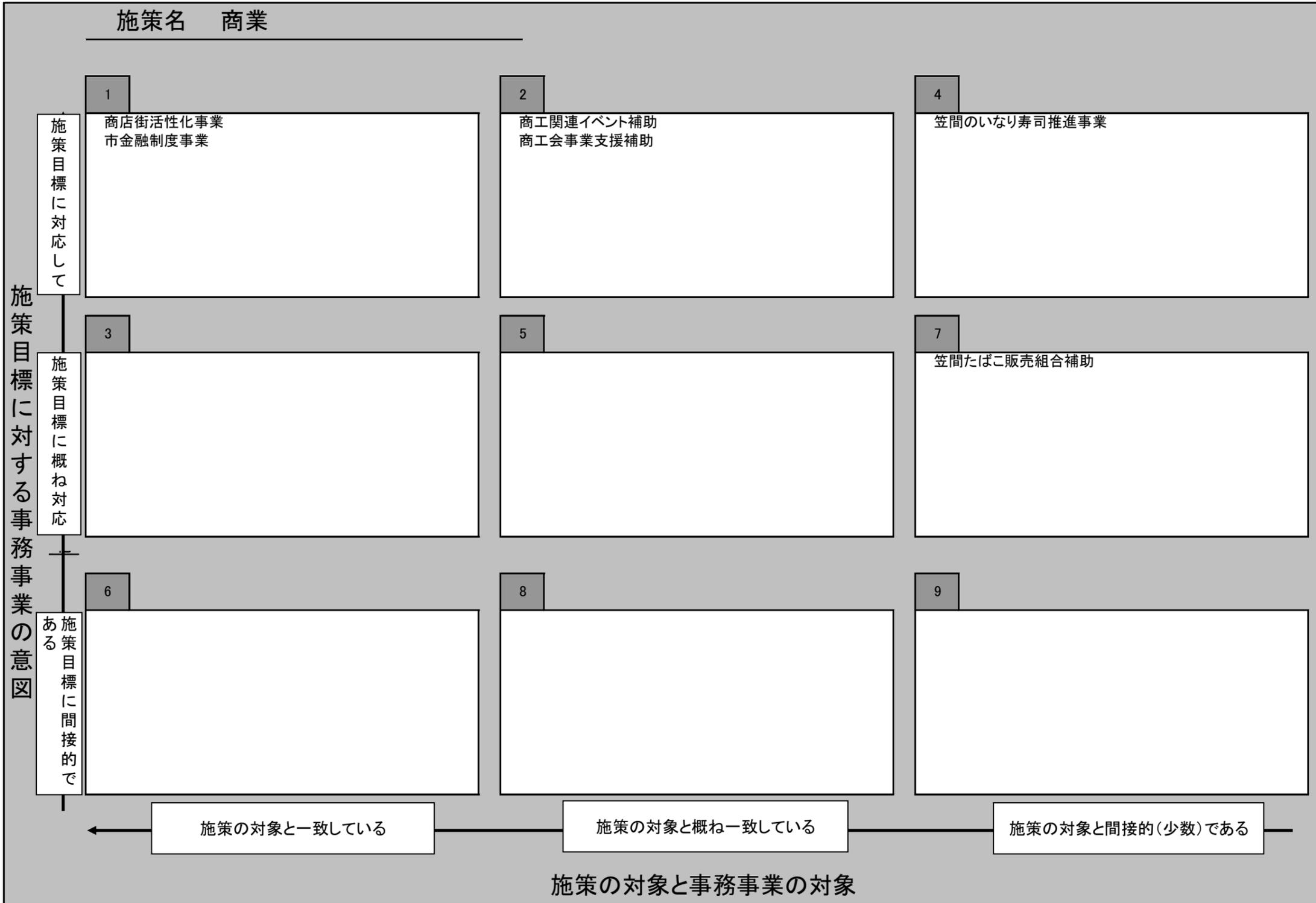
平成27年度に向けた施策方針	
取組方針	<ul style="list-style-type: none"> 市の金融制度による中小企業者へ補助を行い、同事業者の健全な企業活動を支援していく。 地域経済団体である商工会を支援することで、商店街をはじめ地域の活性化を図る。 市街地活性化の推進と産業振興を目的としたイベントの開催を検討する。 ご当地グルメ「笠間いなり寿司」を活用したまちおこしを推進する。

シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果					補助区分	事業費(千円)			貢献度評価	
			成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度		
1	商店街活性化事業	市街地内の活性化に向けた事業として、市街地内において商業を中心とした活性化事業に取り組んでいる。	政策的事業	空き店舗解消数	店	0	1	1	県補助	4,805	4,642	4,642	1
2	商工関連イベント補助	地域の産業振興とPRにより活性化を図ることや地域で活躍する市民団体のPRを目的とした事業を実施する。	政策的事業	イベント参加者数	人	19,300	30,000	20,000	市単	9,230	11,764	11,234	5
3	笠間のいなり寿司推進事業	ご当地グルメ「笠間いなり寿司」を活用し、首都圏を中心に笠間のPRを行い、笠間への来訪者の増加を図る。	政策的事業	ご当地グルメサミット入込み数	人	55,000	84,000	90,500	国補助	6,299	9,181	6,530	6
4	笠間たばこ販売組合補助	販売組合の補助申請事務及び清掃活動への人的支援を実施し、市税の増収を図る。	政策的事業	たばこ税収	円	546,469,031	540,216,364	594,854,871	市単	338	100	100	12
5	商工会事業支援補助	地域経済団体である商工会に補助することにより、地域活性化を図り健全な商工業者の育成を図る。	政策的事業	商工会会員新規加入数	人	30	34	28	市単	26,400	25,000	25,000	5
6	市金融制度事業	市の金融制度である自治・振興金融制度を活用することにより、市内中小企業者の健全な企業活動を支援する。	政策的事業	自治・振興金融利用者数	人	130	127	147	市単	64,584	58,048	72,667	1
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
事業費合計										111,656	108,735	120,173	

シート1 施策構成事務事業目的直結度評価

施策名 商業

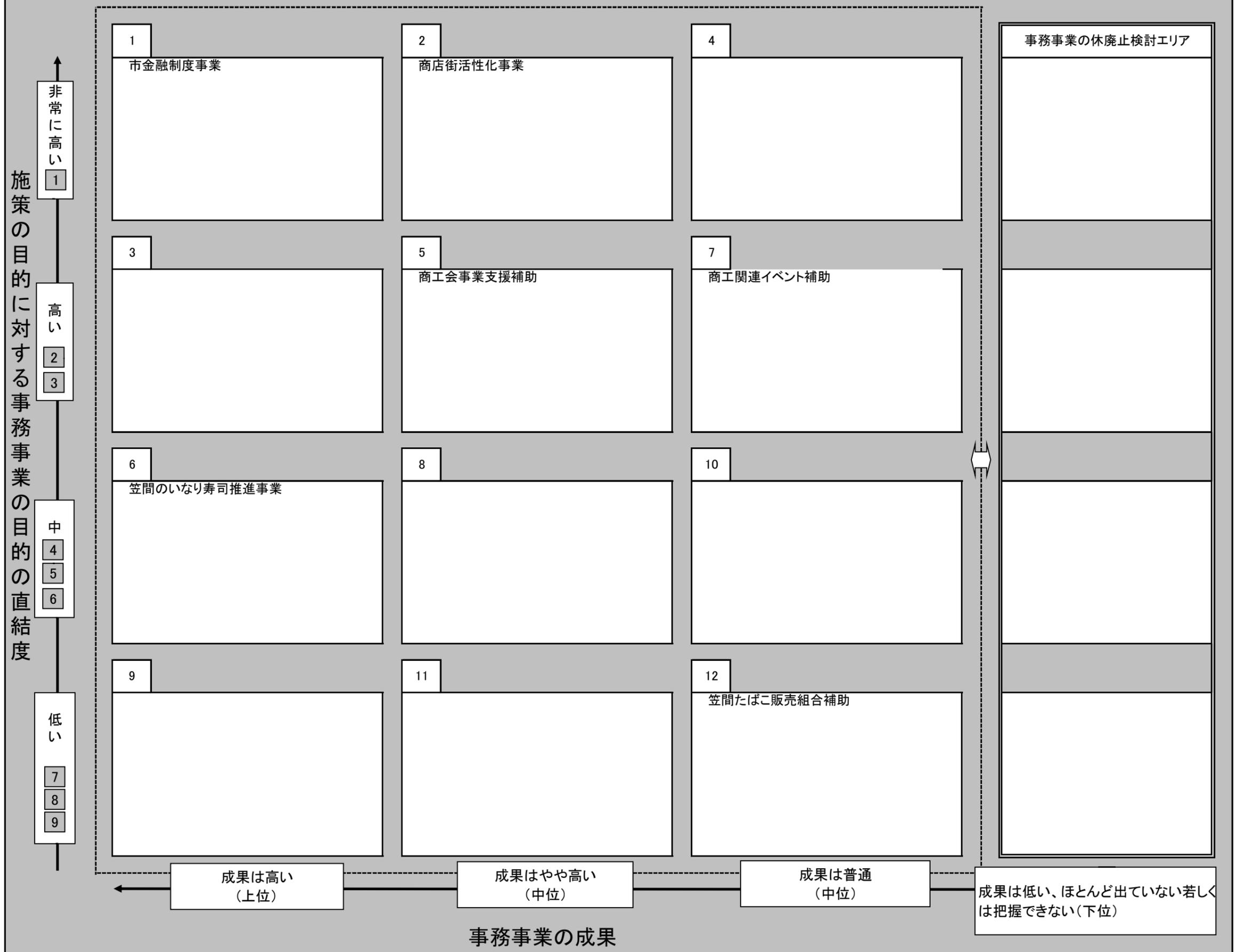


法定受託事務(義務的事業に分類)

事務事業の成果基準の説明

シート2施策構成事務事業貢献度評価

施策名 商業



事務事業の休廃止検討エリア

事務事業の成果基準の説明

法定受託事務(義務的的事业に分類)

事務事業の成果基準の説明